第５９号 算数科の楽しさを味わう授業改善事業　　令和７年　２月　３日（月）

算　数　通　信

テーマ：「数直線図に習熟するための問題」

しばらく「割合」の問題を自分で解けるようにするにはどうするかを念頭に、題意の把握、数直線図の習得の必要性、各学年での内容理解の大事さなどについて、算数通信に書いてきました。

今号は、**教科書には載せられていないけれど、補う必要がある学習がある**のではないかという内容です。たくさんある気がするのですが、２つ挙げます。

その1　数直線図に習熟するための問題

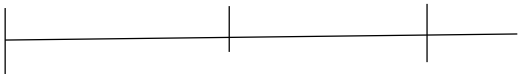
数直線図は大事だと思いながらも、独力で書ける児童が学級にどれだけいるでしょうか。そこで、数直線図への書き込みに特化した学習を行います。

下のような問題を作って、数直線図を作らせます。

数直線図に数を書いて、数直線図を完成しましょう。求める量は［　　］で表しましょう。この問題は、式・答えを求めません。

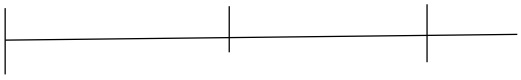
１　１mのねだんが 80 円のリボンを、2.3m買いました。

代金はいくらですか。



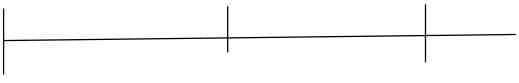
２　１mの重さが２kg のパイプがあります。

このパイプ 3.8mの重さは何 kg ですか。



３　１Ｌの重さが４００ｇの土があります。

この土の１．３Ｌの重さは何ｇですか。

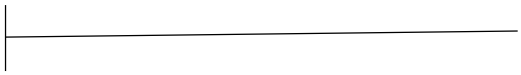


４　１ｍの重さが 2.14 ㎏のパイプがあります。

このパイプ 3.8ｍの重さは何 ㎏ ですか。

５　１Ｌの重さが 400ｇの土があります。

この土の 0.6Ｌの重さは何ｇですか。



その2　わり算の答えを見つけるための問題

３年生５月単元「わり算」では、事前・単元中などに、ぜひ練習させたい問題は、「**穴あき九九**」です。なぜなら、教科書では、「わり算の答えを求めるときは、**わる数のだんの九九で見つける**」という学習をするからです。

６　×　□　＝２４

８　×　□　＝３２

□　×　９　＝７２

・・・・・・・

・・・・・・・

先生方は、その他にも、気づいておられるのではないでしょうか。

もしあれば、情報を頂ければありがたいです。